

中央社保協ニュース



いかそう!
憲法 25 条

中央社会保障推進協議会 2022年8月24日 22-10号
110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5階
電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345
メール k25@shahokyo.jp
HP <https://shahokyo.jp/>

中央社保学校を成功させよう

第49回中央社保学校 from 千葉へ全国から36団体230名(うち、千葉180名)の参加申し込みが現在あります。さらに参加を広げ、中央社保学校を成功させましょう。

現地実行委員会より第49回中央社保学校の魅力をお話いただきました！！

千葉県社保協 藤田 まつ子 氏

「千葉からの発信で開催する第49回中央社保学校を成功させたい」「社保協未結成の地域の社保協づくりのチャンス」県内から180名の申し込みがあり、200人以上の参加をめざしています。

1日目の講演は「安全保障と国民生活～脱新自由主義めざして」講師の宮崎礼二氏は、明海大学経済学部准教授で千葉県学習協の会長を務める方(ファンが大勢!)。つづいて、特別報告～コロナ下で浮き彫りになった矛盾。医療・介護・公衆衛生の現場からの告発です。

2日目の午前は、井口克郎神戸大准教授による社会保障入門講座。

午後のシンポジウム「届けよう 現場・地域の声、広げよう 運動を」では、住民のいのち・健康・暮らし・福祉まもる自治体本来のあるべき姿を考えます。さらに、「全世代型社会保障政策」「財政危機論」などの社会保障解体と憲法改悪の動きに対抗する地域での実践の中から憲法9条・13条・25条等、人権としての社会保障に基づく私たちのめざす社会保障制度を考え、交流します。コーディネーターは長友薫輝佛教大学准教授。パネリストは下記の4人です。

- 関 智子氏 (松戸社保協) 住み続けられる街づくりのため～市立東松戸病院・梨香苑存続を
- 新山晴美氏 (柏社保協) 税金は安心できる暮らしのために使ってほしい～個人請願行動
- 嶋村新一氏 (ちば派遣村 in 東葛実行委員会) 地域の共同で続けてきた「なんでも相談会」
- 額額建史氏 (天海訴訟支援する会) 障害者を65才で差別するな～天海訴訟のとりくみ

お昼休みは「安房文化遺産フォーラム」の取組みをDVDで紹介します。

コロナが収束したら「千葉に行きた～い」と思っていただけの企画です。



中央社保協

申し込み締め切りは8月26日です。皆さんの参加を待っています！